研修会企画検討(兼下書き)用紙

　支部等で研修会の企画を検討される際や下書きをする際に、必要に応じてお使いください。

　　年　月　日　○○研修会　「　　　　　　　　　　　　　　　」の企画案検討(兼入力下書き)

**「申請担当者情報」**

|  |  |
| --- | --- |
| 主催支部・委員会等名 |  |
| 申請担当者氏名 |  |
| 申請担当者所属・役職 |  |
| 申請組織での申請担当者の役職 |  |
| 臨床発達心理士登録番号 |  |
| 日本臨床発達心理士会会員番号 |  |
| 申請担当者メールアドレス |  |
| 申請担当者電話番号 |  |
| 企画運営責任者 | 申請者の他に(あり　・　なし)　　ありの場合下記にも記入 |
| 責任者氏名 |  |
| 申請組織での役職 |  |
| 所属 |  |
| 臨床発達心理士登録番号 |  |

**「研修会開催要項」**

|  |  |
| --- | --- |
| 公認心理師に関する申請 | なし　・　公認心理師協会　・　公認心理師の会 |
| 共催 |  |
| 問い合わせ先メールアドレス |  |
| 研修テーマ(タイトル)(100文字以内) |  |
| 開催方法(一つ選択) | 対面のみ・オンラインのみ・対面とライブ配信・対面とオンデマンド配信・サテライト方式・その他 |
| 研修形式 | 「講義」・「ワークショップ」・「事例検討」(必ず一つ選択)  「シンポジウム」・「e-ラーニング」「その他( )」 選択可 |
| オンライン研修会詳細 | 以下はオンラインを使用するとき(「対面のみ」以外すべて)記載 |
| 過去の同一配信の承認番号期間 | 承認番号(　　　　　　)配信期間( ) |
| オンライン使用の理由 | 感染予防・遠方からの参加権の確保・時間的制約の緩和・(　　　　　　) |
| 参加確認方法 | 合い言葉を使用・確認テスト・画面で確認・(　　　　　　　　　　　　) |
| 倫理に関すること | 例えば以下を記入します。  必ず、以下の倫理的項目を遵守してください。  ◆Web研修会を受講できるのは、受講申込をした本人に限られます。  ◆講義や資料のリンク先のURLを他人に教えたり、SNSやブログなどで公開してはいけません。  ◆講義を撮影、録画、録音、公開をしてはいけません。 |

**「研修会参加条件・参加費」**

|  |  |
| --- | --- |
| 正会員の参加 | 当該支部のみ　・　全正会員 |
| 正会員の参加費 | 参加費は以下のURLのガイドラインを参照。以下同様。  https://jacdp.jp/wp-content/uploads/guideline\_kensyukai.pdf |
| 円 |
| 準会員の参加 | 当該支部のみ　・　全準会員　・できない |
| 準会員の参加費 | 円 |
| 非会員(臨床発達心理士)の参加 | 参加できる　・　参加できない |
| 非会員(臨床発達心理士)の参加費 | 円 |
| 非会員(公認心理師)の参加 | 参加できる　・　参加できない |
| 非会員(公認心理師)の参加 | 円 |
| 非会員(その他の専門職や他資格)の参加 | 参加できる・参加できない |
| 参加できる専門職や他資格名 |  |
| 非会員(その他の専門職や他資格)の参加費 | 円 |
| 非会員(条件なし)の参加 | 参加できる　・　参加できない |
| 非会員(条件なし)の参加費 | 無料　・　(　　　　　　 円) |
| 参加申込方法 | 事前申し込み　・　当日受付 |
| 参加申込受付方法 | 事務局　・　主催組織 |
| 参加申込の受付開始日と終了日 | 月　　　　日　　～　　　　月　　　　日まで |
| 当該支部による先行受付 | なし・あり　(先行受付開始　　　　月　　　　日) |
| 定員設定 | あり　・　なし |
| 定員数・予想参加者人数 | 定員なしの場合は予想参加者数を記入　　(　　　　　　　)名 |
| 臨床発達心理士の予想参加者数 | 名 |
| 例えば、事務局で受付を行う場合  申込受付期間：1月18日（水）～3月6日（月）  申込み方法：本ページ内にある参加申込」のボタンより申込を行ってください。 |  |

**「研修会プログラム・要旨の提出」**

**プログラム・要旨のアップロード【JACDP研修会企画申請（１）】**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **時間　〈例．9:00～12:00〉**  **複数日研修では日付も記載** | | | **プログラムおよび担当講師名** | | **研修**  **時間数** |
|  | ～ |  |  | |  |
|  | ～ |  |  | |  |
|  | ～ |  |  | |  |
|  | ～ |  |  | |  |
|  | ～ |  |  | |  |
|  | ～ |  |  | |  |
|  | ～ |  |  | |  |
| 研修区分（2）の場合　3時間1ポイント/3時間未満1.5時間以上0.5ポイント  （研修会の形態によってはポイント数に上限があります(ガイドラインを参照)） | | | | 研修時間数合計 | 時間 |
| 参加者ポイント数 |  |

※複数日ある場合は、行を増やしてください。

**２．研修会の要旨（400字程度）**

1. 下欄に、研修会の要旨を400字程度で記入してください。
2. 要旨には、臨床発達心理士にとっての意義や資質向上に寄与することを明確に記入してください。
3. 要旨には、別表のテーマ一覧のキーワードを3つ程度入れて作成してください（キーワードについては、次の「２．キーワード」をご覧ください）。
4. 使用したキーワードに蛍光ライン（あるいはアンダーライン）を引いてください。

|  |
| --- |
|  |

**２．キーワード**

次ページの「別表　臨床発達心理的支援に関する研修会のテーマ一覧」の中から3つ程度のキーワードを選んで、下表に記入してください。

* キーワードを選ぶ際には、テーマそのものを使用することも、テーマに含まれる単語や短文を取り出すことも可能です。
* テーマに含まれる単語や短文を取り出す場合は、元のテーマが判別つくように文末に番号を記載してください。たとえぱ、自閉症児者の発達に関しての講義であれば、「典型的発達・⾮典型発達に関する内容」のテーマから取り出した単語を要旨にいれて「自閉症児者の非典型的発達の特徴について話していただく（1-④）」などと書きます。

|  |  |
| --- | --- |
| 例）キーワード： 1-③ | 発達の多様性、具体性、個別性の理解 |
| 例）キーワード： 1-④ | 非典型的発達 |
| **キーワード** |  |
| **キーワード：** |  |
| **キーワード：** |  |

**※　別表 臨床発達的⽀援に関する研修会のテーマ⼀覧**

|  |  |
| --- | --- |
| １．発達⼼理学を中⼼とした⼼理学諸分野の科学的・理論的な知識 | |
| ① | ⼼理学諸分野の理論に関する内容 |
| ② | 発達科学に関する内容 |
| ③ | 発達の多様性、具体性、個別性の理解に関する内容 |
| ④ | 典型的発達・⾮典型発達に関する内容 |
| ⑤ | その他 |
| ２．⼈間が実際に発達する場に関する社会的・実践的な知識 | |
| ① | 発達の⽣物学的理解に関する内容 |
| ② | 発達の⼼理的理解に関する内容 |
| ③ | 発達の社会的理解に関する内容 |
| ④ | 発達の時間軸に沿った⽀援や理解に関する内容 |
| ⑤ | 発達の多要因性に関する内容 |
| ⑥ | 発達の具体性に関する内容 |
| ⑦ | 発達の個別性の理解に関する内容 |
| ⑧ | 発達⽀援の計画、効果、評価に関する内容 |
| ⑨ | その他 |
| ３．⼈間の発達をアセスメントし⽀援する臨床的な知識・技能 | |
| ① | ⽇常⽣活において困難さを抱える⼈々を⽀援する上で必要な知識・技能に関する内容 |
| ② | 発達における「今ここの理解」「⽣成の理解」「具体性の尊重」に関する内容 |
| ③ | 包括的⽀援に関する内容 |
| ④ | アクションリサーチ的循環に関する内容 |
| ⑤ | 環境，⽣態学的視点に関する内容 |
| ⑥ | 発達⽀援のニーズ把握、アセスメントの⽅法に関する内容 |
| ⑦ | 他の専⾨職種、他機関等との相互連携に関する内容 |
| ⑧ | アセスメントに基づいた⽀援に関する内容 |
| ⑨ | ⼦どもの最善の利益、対象児者の権利保障に関する内容 |
| ⑩ | 守秘義務とインフォームドコンセントに関する内容 |
| ⑪ | その他 |
| ４．事例検討会 臨床発達⼼理⼠の資格を有する者同⼠でピア・バイズを⾏う。 | |
|  | ただし、SV 有資格者が１名以上参加し、助⾔等をする内容でなければならない。 |

**「講師情報」**

**講師情報のアップロード【JACDP研修会企画申請（２）】**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （ふりがな）  講師１氏名 |  | |
| 所　属 |  | |
| 役　職 |  | |
| 過去２年以内に同様のテーマで承認されている場合  臨床発達心理士資格更新研修会の承認研修番号（ない場合は空欄） | |  |

**講師の研修テーマに関わる主な活動実績 (研修会講師以外)**

1. 研修テーマの講師として適任であるかどうかを申請するものです。
2. 学術論文、著書、社会的活動などを、以下の例の書式を参考にして1～２個の活動実績を記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 年 | 活動実績 |
| 例）2020年 | 原著論文 ○臨床花子・発達太郎、△△△△とその評価、XXXXXX学会論文誌 Vol.30 No.2、pp.162-172 |
| 例）2015年 | 著書　臨床花子、△△△△△△△△△△の分析、全 200 頁、○○○○書房 |
| 例）2010～2015年 | 児童発達支援センターにおいて発達障害児への発達支援に携わり、テーマに関わる実績がある。 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

**講師の研修テーマに関わる主な実績 （研修会講師など）**

1. 研修テーマに関わる研修会講師などの実績を申請するものです。
2. 以下の例の書式を参考にして1～２個の実績を記入してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 実施日 | 研修会テーマ | 担当した内容 | 主催 |
| 例）2020年9月27日 | アタッチメント研究の最前線 | 講師 | 日本臨床発達心理士会 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

※以下、複数講師の場合は講師数に応じて増やしてください

**講師１情報登録**

|  |  |
| --- | --- |
| 講師１：メールアドレス |  |
| 講師１：役割  (上段は必ず選択) | 講師　・　補助講師  話題提供者　・　指定討論者　・　その他(　　　　　　　　) |
| 講師１：臨床発達心理士資格の有無 | あり（正会員）　・　あり（非会員）　・　なし   * 有資格者の臨床発達心理士登録番号（　　　　　　　　　　) |
| 講師１：担当時間数 | 時間　　　　　　　　　分 |
| 講師１：謝金について | 士会の規定通り　・　士会の規定外の支払い(本部との相談　済・未) |
| 講師プロフィール  (個々に記載されたとおりにHPに掲載されます) |  |

※以下、複数講師の場合は講師数に応じて増やしてください

**「研修会会場」**

|  |  |
| --- | --- |
| 研修会会場 | 対面会場なし　・　対面会場あり(有りの場合のみ下記に記載) |
| 会場名 |  |
| 部屋番号 |  |
| 会場所在地 |  |
| 電話番号(連絡先として使える場合のみ) |  |
| アクセス方法 |  |
| アクセスマップのURL |  |
| 会場使用料 |  |

**「ヘルプデスクへのお問い合わせ・連絡事項」**

(ホームベージへの掲載開始時期について希望がある場合も、ここにお書きください)

|  |
| --- |
|  |